資料1

素案修正一覧

章	頁	修正箇所	修 正 前	修 正 後
1	1	1計画策定の趣旨 6行目	「連携を図られ」	「連携が図られ」
	2	2計画の位置づけ		
		4行目		文頭に「また、」を加えました。
		計画関係図		図の配置を変更しました。 ※「他の関連計画」を右へ
	4	(1)第1次計画の数値目標 の達成状況		
		1行目	「平成28年度と比べ」	削除
		(2)第2次計画における数値目 標		
		表題	「第2次計画」	「本計画」
		3行目		「本市では、国の数値目標と合わせ、令和11年までに自殺死亡率を令和元年と比較して30%以上減少させ、12.7以下にすることを目標とします。」
	5	5 S D G s の取組		
		5行目		行頭の「s」を避ける。
2	6	(1)評価項目		
		表題	「評価項目」	「評価項目の達成状況」
		2行目	「評価項目10項目」	「評価項目に掲げた10項目」
	7	(1)の表	「達成状況 (達成割合)」	「達成状況」
3	9	(1)村上市における6つの傾向		
		①の1行目		「年代別自殺者数をみると」を加え ました。
		③の2行目、4行目	「県や国」	「国や県」
		④の表題	「職業別割合は」	「職業別では、」
		⑤の表題	「同居人の有無の割合は」	「同居人の有無別では、」
	10	(2)村上市における自殺のリスク が高い集団 (図表10)		
		⑤の表題	「同居」	「独居」
	11	(1)自殺者数と自殺死亡率の推移		
		3行目		行頭の撥音「っ」を避ける。

章	頁	修正箇所	修 正 前	修 正 後
3	12	(2)年代別自殺者数の推移		
		1行目	少傾向にあります。しかし、平成26 年から令和5年度までの自殺者数 (合計)を年代別にみると、70歳代	「平成26年から令和5年度までの自 殺者数(合計)では、70歳代以上の 高齢者が多く、全体の約4割を占め ています。 40歳代から60歳代の自殺者数は増 減を繰り返しながら、ここ数年は減 少傾向にあります。」
	13	(3)性別自殺死亡率の推移		
		2行目、4行目	「県や国」	「国や県」
	15	(6)職業別割合		
		1行目	「職業別をみると」	「職業別にみると」
	16	(7)同居人の有無の割合		
		1行目	「同居人の有無をみると」	「同居人の有無別にみると」
	18	(10)対策が優先されるべき対象群		
		1行目	「上位5区分は」	「上位5区分は、」
4	19	(1)自殺対策を生きることの包括 的な支援として推進する		
		4行目	「時に」	「ときに」
	20	4行目	「当たる」	※大綱、前計画では「あたる」
		6 行目	「生活困窮動者自立支援制度等」	「生活困窮者自立支援制度等」
	21	6行目	「教育活動等を推進します」	「教育活動等に取り組んでいくこと が重要です」
		(5)関係者の役割を明確化すると ともに、関係者同士が連携・協 働して取組を推進する		
		4行目	「村上市を目指し」	「村上市を目指すには」
	23	【基本施策 1 】地域における ネットワークの強化 (1) 地域におけるネットワークの 強化 1 行目	と課題を共有し、課題の解決に向けた取組を協議します。 また、庁内外のあらゆる分野とのネットワークを強化し、自殺対策として行って	「庁内及び関係機関における自殺対策の 取組を推進するため、自殺対策庁内推進 会議や自殺対策検討委員会を継続して開 催し、本市の自殺の現状を共有するとと もに、関係機関等との連携を強化し、自 殺防止に向けたネットワークの強化を図 りながら、総合的かつ効果的に自殺対策 を推進します。」
		(2)特定の問題に関する連携・ ネットワークの強化		
		5行目	「始めとした」	「はじめとした」

章	頁	修正箇所	修正前	修正後
4	24	事業一覧No. 1 事業概要	「副市長及び教育長を中心に、庁内の各分野の部署が連携し、全庁的に総合的かつ効果的な対策を推進するため、全課の課長を構成員とする自殺対策庁内推進会議を開催します。」	「庁内の全部署が自殺対策に関し共通の 認識を持ち、全庁的な取組として推進す るため、自殺対策庁内推進会議を開催 し、市として取り組むべき自殺対策事業 の選定及び事業の推進に関する協議・決 定を行います。」
		事業一覧No. 2 事業概要	「関係機関や民間団体等と緊密な連携を 図るとともに、」	削除
			「知見を活かして」	「知見を生かして」
			「庁内外の」	削除
		事業一覧No. 5 担当課 関係機関	「村上保健所」	「村上地域振興局健康福祉部」 以後の文章は全て上記に変更します。
	26	(1)様々な職種を対象とした研修 の実施		
		2行目	「専門従事者」	「者」
			「ゲートキーパー」	「ゲートキーパー※」
			「養成講座」	「養成講座の受講」
				以下を追加します。 ※「ゲートキーパー」:自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置づけられる人のこと。
	31	事業一覧No. 7事業概要	「乗り合いタクシー」	「乗り合いタクシー」
		事業一覧No. 9, 10, 11事業名等 【基本施策4】生きることの促進	「問題の啓発」「問題の普及啓発」	「啓発」
	34	要因への支援		
		3行目	「時」	「とき」
	36	事業一覧No. 11事業概要	「特定健診受診者」	「特定健康診査受診者」
	37	事業一覧		「村上地域くらしとこころの総合相 談会」を追加しました。
	38	事業一覧No. 26事業名等	「認知症患者」	「認知症の当事者」
		事業概要	「支援者(家族含む)」	「家族(支援者含む)」
	45	【重点施策1】高齢者の自殺対策 の推進		
		3行目	「等、」	「等は、」
			「老々介護」	「老老介護」
		5行目	「高齢者を取り巻く」	「高齢者を支援する」
		■課題		
		1行目	「団塊世代の高齢化が更に進むことで、介護に関わる悩みや問題が一層 増えていくことが考えられます。」	削除

章	頁	修正箇所	修 正 前	修 正 後
4	45	5行目	「高齢者は、配偶者をはじめとした 家族との死別や離別、身体疾患等を きっかけに孤立したり要介護状態に なる、生活が困窮する等の複数の問題を抱え込むケースが見られます。 地域とのつながりが希薄である場合 には、問題の把握が遅れ、その間に 自殺のリスクが高まるおそれがあり ます。」	削除
		■課題		
		8行目		「男女とも、60歳代以上の無職者で同居人のいる人の自殺のリスクが高いことを十分に理解し、」を加えました。
				「関係機関等と連携し、社会参加と 生きがいづくりなど高齢者に対する 支援の充実を図る必要がありま す。」
	50	【重点施策2】生活困窮者支援と 自殺対策の連動性の向上		
		1行目	「自殺のハイリスク者の実情を踏ま え、」	「複合的な課題を抱える生活困窮者 の中に自殺リスクを抱えている人が 少なくない実情を踏まえ、」
		■現状		
		2行目	「11.4%と、」	「約1割で、」
		■課題		
		1行目	「生活困窮者に対する支援と自殺対 策との連動性を高め、」	削除
		■今後の取組の方向性		
		(1) 生活困窮者に対する 「生きることの包括的な支援」 の強化		
		2行目	「人材の育成を進めます。」	「人材の育成を進め、生活苦に陥っ た市民に対する「生きることの包括 的な支援」を強化します。」
		3行目	「また、重層的支援体制整備事業に おいて、他課との情報共有や連携強 化を進め、支援対象者の状態に応じ た包括的かつ継続的な支援へとつな げられる体制づくりを強化しま す。」	削除し、文言の一部を(3)へ 加えます。

章	頁	修正箇所	修 正 前	修 正 後
4	50	(2) 支援につながっていない人 を、早期に支援へとつなぐため の取組の強化 2 行目	「行政だけでなく関係機関等からも 積極的に働きかけを行うなど、早期 に支援へとつなげられる体制づくり を強化します。」	「行政側から対象者への働きかけを 積極的に行うなど、支援につなぐた めのアウトリーチの体制を強化しま す。また、自殺のハイリスク者を早 い段階で発見するとともに、必要な 支援へとつなぐための取組を強化し ます。」
		表題 1 行目	(3)多分野の関係機関における連携・協働の推進 「多分野の関係機関が連携・協働 し、「生きることの包括的な支援」 を推進するための基盤を強化してい きます。」	(3)多分野の関係機関との連携・協働「多分野の関係機関が連携して支援していくために、情報共有をタイムリーに行い、支援対象者の状態に応じた包括的かつ継続的な支援の提供を推進します。」
	54	【重点施策3】勤務問題に関わる 自殺への対策の推進		
		4行目	「勤務環境」	削除
			「ワークライフバランス」	「ワーク・ライフ・バランス」
		■現状		
		4行目		「・自殺のリスクが高い集団で自殺者数が3番目に多いのは、40歳から59歳までの男性の有職者で、同居人のいる人となっています。(図表10)」を加えます。
		■課題		
		1 行目	「勤務環境」	削除
		2行目	「普及啓発」	「啓発・周知」
		■今後の取組の方向性		
		(1) 勤務問題における自殺リスクの低減に向けた相談体制の整備、強化		
		5 行目 (3)健康経営に資する取組の推 進	「無業者」	「無職者」
		1 行目	「ワークライフバランス」	「ワーク・ライフ・バランス」

章	頁	修正箇所	修 正 前	修 正 後
4	58	【重点施策4】女性の自殺対策の 推進		
		2行目	「始め」	「はじめ」
		■課題		
		1行目	「妊産婦の自殺要因の背景として、」	「妊産婦の自殺の背景には、」
		2行目	「育児不安などが考えられるといわ れており、」	「育児不安などの要因があるといわ れており、」
		■今後の取組の方向性		
		(1)妊産婦への支援の充実		
		2行目	「発達支援等が」	削除
4	58	(2)困難な問題を抱える女性への 支援		
		4行目	「様々なネットワークを活用して取り組みます。」	「様々なネットワークを活用した取 組を推進します。」
5	62	(1) 自殺対策検討委員会		
		1行目	「活かして」	「生かして」
			「庁内外の、関係機関や専門家等を 構成員としています。」	「自殺対策検討委員会では、関係機関や 専門家等を構成員としています。」
			「自殺対策計画」	「本計画」
		(2) 自殺対策庁内推進会議		
		1行目	「副市長が会長を、教育長が副会長 を務める意思決定機関です。」	削除
			「市役所内の各分野の部署が連携 し、全庁的に総合的かつ効果的な対 策を推進するため、全課の課長によ り構成されています。」	通の認識を持ち、全庁的な取組とし
		推進体制図		自殺対策庁内推進会議に「政策監」 を加えました。